

こまえ平和フェスタ2026 あいさつ

狛江市議会議長 三角武久

皆様こんにちは。

日頃から狛江市議会に対し、皆様方にはご理解ご協力をいただいていること、この場をお借りしまして、感謝を申し上げます。

いま、ご紹介に預かりました狛江市議会議長の三角武久でございます。

今年も、実行委員会並びに関係者の皆様の熱い熱いお力で、「こまえ平和フェスタ2026」が雨の中ですが、このように盛会に開催されましたこと、心からお慶び申し上げます。

いま、私たちの目の前には紛争や対立が横たわっている現実がございます。

ウクライナへのロシアの軍事行動は今なお継続されており、2月にはアメリカとイスラエルがイランへの軍事行動を起こしたところです。

狛江市議会としても、3月に召集されました令和8年（2026）第1回定例会において「イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和解決を求める決議」を全会一致で可決をさせて頂いたところです。（拍手）

この決議は、イランへの軍事行動の即時停止と、対話と外交による平和的な解決に努力を尽くすことを求める決議でございます。

しかしながら、今、現状を見ていますと、先ほど実行委員長からお話が合ったように、世界各地を見回してみますと、紛争や争いが絶えない中で、特に子どもたちがその戦争、紛争の犠牲になることは大変、悲しみに堪えないところでございます。

国際情勢を鑑みても、いま、私たちに必要なことは「人と人がつながること」の大切さを再認識する必要があると私は感じているところです。どの国の人々も、愛



する家族と、そして友人たちと、心穏やかに平和に暮らしたいと願っているところです。

この願いは共通する理解の上で、皆様がみんなで支え合うことで平和の礎が築かれると、私は確信しています。

今年の「こまえ平和フェスタ2026」のテーマは、「聴いて語ってつながる未来～コマエでつむぐ平和のカタチ～」です。このテーマの基、大変素晴らしい企画をご用意されているということで、5人の高校生による座談会、「水と緑のまち」の合唱など、大変素晴らしい企画を通して、平和を願う心の輪が広がる機会になることを期待しています。

そして、このような場を通して、未来を引き継いでいく子どもたちが「平和に対する希求」、「人と人がつながる大切さ」を学び、次世代につなげ、伝えること、その力が大きくなることを、私も期待を申し上げる次第です。

狛江市議会としても、昭和 57 年(1982)6月 21 日「狛江市平和都市宣言」の精神の尊重を計りながら、平和で安心・安全なこのまちに長く住み続けたい、そんな街づくりに、一人ひとりの議員が、また議員どうしが力を合わせ取り組んでまいります。

結びに、「こまえ平和フェスタ2026」の開催を通して、全ての市民の皆様に平和の願いの輪が広がることを心からご祈念申し上げるとともに、この会場にいらっしやいます皆様方のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。

そして、最後に、一人ひとりの皆様が平和を願う、そんな小さなかけらが一つに固まりながら、「コマエでつむぐ平和のカタチ」になること、心からご祈念、ご期待を申し上げ、「こまえ平和フェスタ2026」の開催に添える言葉とさせていただきます。

本日はお招きをいただきまして誠にありがとうございます。